

チャレンジショップの実施を核に各種事業を多面的に展開

## 飯塚商工会議所

機関名	飯塚商工会議所			
所在地	福岡県飯塚市吉原町 6 - 12			
電話番号	0 9 4 8 - 2 2 - 1 0 0 7			
地域概要	(1)管内人口	8万1千人	(2)管内商店街数	6 商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	6 商店街	(2)会員数	427商店
	(3)空店舗率	16%	(4)大型店空き店舗数	2 店
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街			

### 【事業名と実施年度】

平成14年度 活性化対策事業

- ・チャレンジショップ、ミニチャレンジショップの実施
- ・いこいの広場の設置
- ・各種イベントの開催
- ・ITを活用した事業（メルマガ発行）

総事業費

15,000千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

飯塚市は福岡県のほぼ中央の嘉穂盆地に位置し、明治以降は全国一の出炭量を誇る筑豊炭田の商業・文化の中心地として繁栄してきた。戦後のエネルギー転換により石炭産業が衰退し、一時市勢は衰えを見せたが国立九州工業大学情報工学部や近畿大学九州工学部の開学に伴い、情報系の研究・開発関係機関の整備がなされ、福岡県央の文化・情報の中核都市として変貌を遂げつつある。

近年、市の中心市街地では、郊外への大型店の進出や中心市街地にあった大型店の撤退に伴い、商店街の空き店舗が増加するなど急速に空洞化が進んでおり、厳しい状況にあった。

そのため、平成10年度より空き店舗対策について商店街・行政・商工会議所が一体となって

調査研究を行い、平成11年度「福岡県商店街再活性化戦略モデル事業」を実施、平成12年度には



飯塚市の位置

空き店舗対策を中心とした活性化事業を実施した。そのノウハウをもとに、チャレンジショップを活用した空き店舗対策を中心とする本事業に取り組んだ。

## 2. 事業内容

### (1) チャレンジショップ事業

#### 1) チャレンジショップ

顧客の主流である中高年齢者や新規来街者の誘引を図るために空き店舗3箇所で開催ショップを実施することにした。

出店者の募集方法は、筑豊ジャーナル募集広告(45,000部発行)、イベントチラシ、商工会議所報、イベント開催時チラシ配布、商店街ホームページ等でのPRを行ったほか、報道機関の協力を得た。

4件の申し込みがあり、選考の結果、下記の2店舗が出店した。

所在地	業種	店舗名
昭和通り商店街	エステサロン	白薔薇
昭和通り商店街	衣料品	スミスクロシング

#### 2) ミニチャレンジショップ(商業インキュベーター)

商売のノウハウを持たない創業予定者が実際の店舗運営を通して経験を積んだ上で中心市街地内への出店を促進するという目的でミニチャレンジショップの出店者を募集した。

- ・本町商店街 1坪ワゴンを作製(5台)し、大型の空き店舗内に設置した。  
申し込みが5件あり、選考の結果下記の3店舗が出店した
- ・新飯塚商店街 空き店舗1店舗を2店舗に分けて募集した。  
申し込みが2件あり、選考の結果下記の1店舗が出店した

所在地	業種	店舗名
本町商店街	衣料品	シーサイドブルー
本町商店街	占い	占いの館
本町商店街	食品	手づくりの弁当屋
新飯塚商店街	アクセサリー	

### (2) 空き店舗を活用した活性化事業

#### 1) いこいの広場「恵比須広場」の設置

大型空き店舗を活用して自由に使える広場を整備し、都市空間の中の安らぎのスペースとして、いこいの広場「恵比須広場」を設置した。

平成14年11月11日に完成、定期的にこの広場を活用しバザーやイベント会場の一つとして利用した。

通常は前述のミニチャレンジショップが営業しており、新規来街者の誘引が図られた。

#### 2) 空き店舗をNPO団体等の事業拠点として活用

NPO団体、大学、各種サークルなどと連携した街づくりの一環として、空き店舗を活用し団体等が気軽に事業活動を行うことのできるスペースの確保を図った。商店街が地域にとって不可欠な存在であることを地域住民にアピールする事業の一つと位置づけてい

る。

人権問題に関する啓発を行っている団体が入居し「心のふれあい館」と称して活動を行った。

### 3) 空き店舗に商店街直営店舗（2店舗）を開設

商店街が独自に空き店舗を活用し、高齢化社会、環境問題などに対応した店づくりを実践的に行っている。

平成14年9月15日の敬老会では、電動カートの試乗会を開催した。

## (3) 地域に根ざした商店街活性化事業の実施

### 1) 地域住民との連携による活性化事業

#### ①商店街クラブ設置の検討

商店街のメリットを生かし、消費者とのふれあいを促進するため、「商店街クラブ」を設置することを検討した。

イベント、売出しへの招待や商店街の活性化の共同企画を行うことを想定しているが、消費者団体の意見を取り入れ、各個店のコンセンサスを得る必要があることから、今後引き続き飯塚市商店街連合会で検討することとなった。

#### ②宅配システム構築の検討

生鮮食品を主体とした宅配システムを構築することを検討し、各地の事例を調査した。実施にあたっては、新たな組織を構築する必要があることから、今後引き続き飯塚市商店街連合会で検討することとなった。

#### ③買い物カート導入事業

駐車場とタイアップしたうえで、買い物カートを導入して来街者に優しい環境整備を実験的に行うため、カートを100台購入した。平成14年9月15日の敬老会に合わせて各商店街に設置するとともに、PRのため敬老会参加者を対象にお茶の接待等のイベントを実施した。

カートは、商店街内の空き店舗前などに配置して来街者が利用できるようにしている。

### 2) 空き店舗等を活用した集客効果の高い事業の実施

#### ①観光事業、売出し等による活性化事業

空き店舗等を短期的に有効活用し、歴史ある商店街の強みを發揮して地域に根ざした観光事業や売出しを行うとともに、歴史的遺産や地域文化を取り入れた個性ある事業を行った。

- ・夏の本気市（平成14年7月6日～28日）

5つの商店街が一体となり、売出しを行うとともにイベントを開催しチャレンジショップの募集を行った。

- ・土曜夜市（平成14年7月20日、27日、8月2日）

空き店舗を活用し、子供たちによるバザーやお化け屋敷などのイベントを開催し30,000人の人出で賑わった。

- ・七夕まつり（平成14年8月1日～11日）

東町商店街のアーケード内の飾り付けを行い、七夕の雰囲気醸し出すとともに本事業のPRを行った。

- ・永昌会（平成14年11月30日～12月5日）

## 飯塚商工会議所

119回を迎えた伝統ある永昌会の売出しに合わせて七福神の練り歩きなどのイベントや各商店街でお茶の接待等を行った。また、チャレンジショップ入居者のPRを行った。売上状況は昨年並みを確保することができた。

### ・年末年始イベント

子供もちつき大会（平成14年12月24日 東町商店街）

私の店のお宝展（平成15年1月2日～7日 本町商店街井筒屋）

6つの商店街のなつかしいお宝物を展示

恵比須まつり（平成15年1月9日、10日 本町・東町・永楽商店街）

成人式イベント（平成15年1月13日 本町・東町・永楽・吉原町商店街）

### ・筑前いいづか雛まつり（平成15年2月15日～3月9日）

通常は公開していない地域の歴史ある建物「麻生大浦荘」、「千鳥屋総本店」を特別公開するとともに各商店街で空き店舗等を有効活用して手作り品の展示や様々なイベントを行い、全国各地から25万人の人出で賑わった。



筑前いいづか雛まつりの様子

### ②福岡都市圏等からの誘客事業

平成14年10月6日JR九州福北ゆたか線電化開業1周年イベントとして、JAふくおか嘉穂や、行政、企業、団体等と連携しながら、福岡都市圏等からの誘客を図るため空き店舗等を有効活用してバザーや即売会を実施した。

### （4）ITを活用した活性化事業の実施

商店街のホームページの掲載店舗を増やして内容の充実を図るとともに、メールマガジンの発行システムを構築した。第1号を平成15年3月26日に発行し、年度末の購読者数は30名であった。

## 【効 果】

- （1）商店街内の閉鎖されている大型店のシャッターを開け、広場を整備したことで商店街全体のイメージが向上した。
- （2）空き店舗対策事業を実施し、新たな商業者が育成されることにより、既存の商店主が刺

激を受け、商店街に活気が戻ってきた。

- (3) イベントを行うことにより、商店街の連帯感や組織の強化が図られつつある。
- (4) ミニチャレンジショップ等の開店により、空き店舗を減らして商店街の空洞化を回避出来ている。

#### 【課題・反省点】

- (1) 新たな事業として、NPO団体と連携した空き店舗対策事業を進めたが、希望者が少なかった。最終的には人権啓発に関する活動を行う団体が入居したが、今後も商店街の中でNPO団体等が活動できるような仕組み作りや、支援体制を検討する必要がある。
- (2) 事業費は行政の支援を受けていることから、予算の関係で事業実施が7月～8月になる。このため、チャレンジショップに対する支援が短期間になってしまい、出店者がノウハウを学ぶ期間が十分に取れない状況である。

#### 【教訓】

厳しい商業環境の中、さまざまな事業に取り組んでいるものの商店街の活性化にまでは至っていないのが現実である。

しかし、何も行わなければ商店街が衰退していくことは目に見えており、どんなに小さな取り組みでも失敗を恐れずに挑戦していくことが重要である。

#### 【関連URL】

飯塚商工会議所 <http://www.iizuka-cci.org/>